

アウクスブルクの思い出！

伊藤 巧

応募のきっかけ

私が尼崎市青年使節団に応募したきっかけは、春休みにオーストラリアへ行った際に大きな刺激を受け、「積極的に海外と関わっていきたい」という気持ちが強まったことと、ビールが大好きなので「本場のビールを味わいたい！」という安直な理由からです。その時はまさかこれほど貴重な経験をしたり、様々な歴史的な場所を訪れたり、かけがえのない素晴らしい仲間ができるとは思いませんでした。

初のドイツ！首都ベルリン！

初日はドイツの首都ベルリンに行きました。一日だけの観光ではありましたが、ブランデンブルク門や、ベルリンの壁、チェックポイントチャーリー跡、国会議事堂、大聖堂、博物館、ソニーセンターなどの観光名所を網羅した盛りだくさんの一日でした。また、各観光名所には仮装した人たちがいて、お金約 2 ユーロを払えば一緒に写真を撮ってもらうことができます。

そして、食事の際はベルリンのご当地ビール「ベルリーナ・ヴァイセ」を頂きました。「ベルリーナ・ヴァイセ」には赤と緑の 2 種類があり、ラズベリーかヤエムグラで割ることによって色が変わります。見た目も鮮やかで、爽やかな風味をしています。まるでカクテルのようなビールなので、ビールが苦手な人でも飲みやすいと思います。是非ご賞味頂きたいです！！



ブランデンブルク門にて



チェックポイント・

チャーリーにて

いざ、アウクスブルクへ！

私たちは首都ベルリンを出発し、姉妹都市であるアウクスブルクへと向かいました。ミュンヘン空港にて長浜市青年使節団と合流し、バスに揺られること 2 時間弱でアウクスブルクに到着。そしてすぐに歓迎会が開催されてそれぞれのホストファミリーと対面！！事前にメールでやりとりしていたとはいえ、緊張する私を、Andi とお父さんはとても親切に、かつ快く迎えてくださいました。

私のホストファミリー紹介

私がホームステイさせて頂いた家族はお父さんの Eduard、お母さんの Theresa、そしてアウクスブルク市青年使節団員である大学生の Andi です。同居してはいませんが、ラジオ局勤務のお姉さんの Christine にもお会いしました。彼らはとても親切で、夕食の後に様々な場所へ案内してくださったり、市内の散策へと私を連れて行ってくださいました。

お父さんとお母さんは英語が話せないの
で、会話は Andi に英語で通訳してもらいま

した。それでも家で過ごす時には簡単なドイツ語を教えてもらったり、逆に日本語(ありがとうやいただきます)を教えてあげたりと楽しく会話ができました。また、市長表敬訪問の前日に「市長にドイツ語で挨拶がしたい!」とお願いしたところ、丁寧に教えてくれました。(実際に「プレラー市民祭り」にて市長に対して無事に言えたことを伝えるととても喜んでくれました。)

それに加えて、ビールが大好きと伝えていた私の為に 20 種類ものビールを用意してくださったり、最終日にミュンヘンのビアパレスにも連れて行ってくださいました。プレラーの後で、1 ジョッキのプレゼントをして頂いたり、とても親切にして頂きました。



Eduard, Theresa, Koo, Andi



Christine, Koo, Andi

お好み焼

毎日ドイツ料理(白ソーセージやブレッツェルなど)をご馳走になったり、レストランへ連れて行ってもらっていたので、何か日本らしいお返しがしたいと考えていた

私は、最終日の夜に Andi が好きな日本食のお好み焼を振る舞うことにしました。ソースや具材を持参しただけでなく、事前に日本で練習していたので、上手に焼くことができ、家族にも好評でした。



青年使節団としての活動

私たちは尼崎市青年使節団として、様々な場所を視察させて頂きました。初日の市長表敬訪問に始まり新市立図書館やアウクスブルク大学、MAN・ディーゼル社、幼稚園、動物園や植物園へも行きました。中でも強く印象に残っているのはプレラー市民祭りです。プレラー(Plärrer)とはビアホールと遊園地が一体となったとても楽しいオクトーパーフェストのようなイベントです。民族衣装を身に付けた来場者もいました。ビアホールではほとんど全員1のジョッキでビールを飲みながら談笑していて、オーケストラによる「乾杯の歌」が演奏される度に皆で歌い、笑顔で乾杯していました。(そこで私は偶然いらしゃった市長と乾杯をすることができました。)

そしてひとたび遊園地へと足を運べば、移動遊園地とは思えないほどの観覧車や乗り物が用意されていて、まさに子供から大人まで楽しめるイベントだと思います。

こんなに楽しいイベントは是非日本でも開催されるべきだと思います!



プレラー市民祭りにて

団員同士の交流

使節団としての視察活動の後、アウクスブルク市青年使節団員が、様々なイベントを企画してくれました。BBQ に始まり、ボウリング、最終日の夜には人生初のクラブへ行きました。私はとてもシャイなので、お酒の力を借りつつ、ビールや強いお酒などをたくさん飲んで、彼らと色んなことを語り合いました。ドイツの人はとてもお酒が強いので、とても楽しくお酒を飲むことができました。どのイベントもとても楽しくて、この交流を企画してくれたからこそ、アウクスブルク市の団員や長浜市の団員とも仲良くなれたのだと思います。



ボウリング場にて

フェアウェルパーティー

私たち尼崎市青年使節団はフェアウェルパーティーにて、浴衣を着て、尼崎市と縁のある尼子騒兵衛さんの「忍たま乱太郎」の主題歌「勇気 100%」と、「第九」を日本語とドイツ語で歌いました。

その後は全員で「Let's BINGO!!」のかけ声でビンゴ大会を行いました。ビンゴをするのは初めての方もいらっしゃったのです

が、「日本らしいもの」をコンセプトに用意した景品も無事に全員に行き渡り、とても盛り上がった出し物となりました。



フェアウェルパーティーにて

出発の日...

出発の朝、たくさんの忘れられない経験をさせてくれたホストファミリーやアウクスブルク市の団員たちに感謝の気持ちを伝えたいと思い、私は集合場所へと向かう車内で何と言おうかと考えていました。しかし、感情が昂ぶるあまりに号泣してしまって、日本語で「ありがとう」や「Danke schön」しか言えなくなり、きちんと感謝の言葉を伝えられなかったのが、後日名刺をもらったメンバーに手紙を書きました。私は Andi をはじめ、ホストファミリーや他の団員たち、そして長浜市と尼崎市のメンバーに感謝の気持ちでいっぱいです。

こんなに素敵な思い出を作れたのも彼らがいってくれたからです。これからも彼らとの繋がりを大切にしていきたいと強く思うと同時に、次にアウクスブルク市青年使節団員が日本に来た際には、心から日本的なもてなしをしたいと思います。本当にみんなありがとう！！

